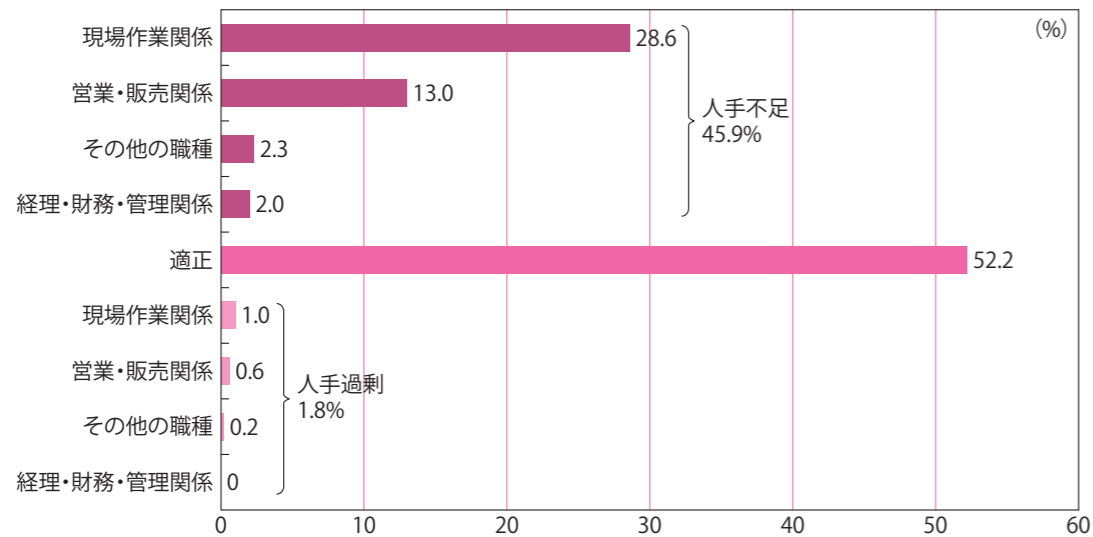


中小企業における人手不足の状況と働き方改革への対応について

(2019年4月-6月期調査 回答数:980件)

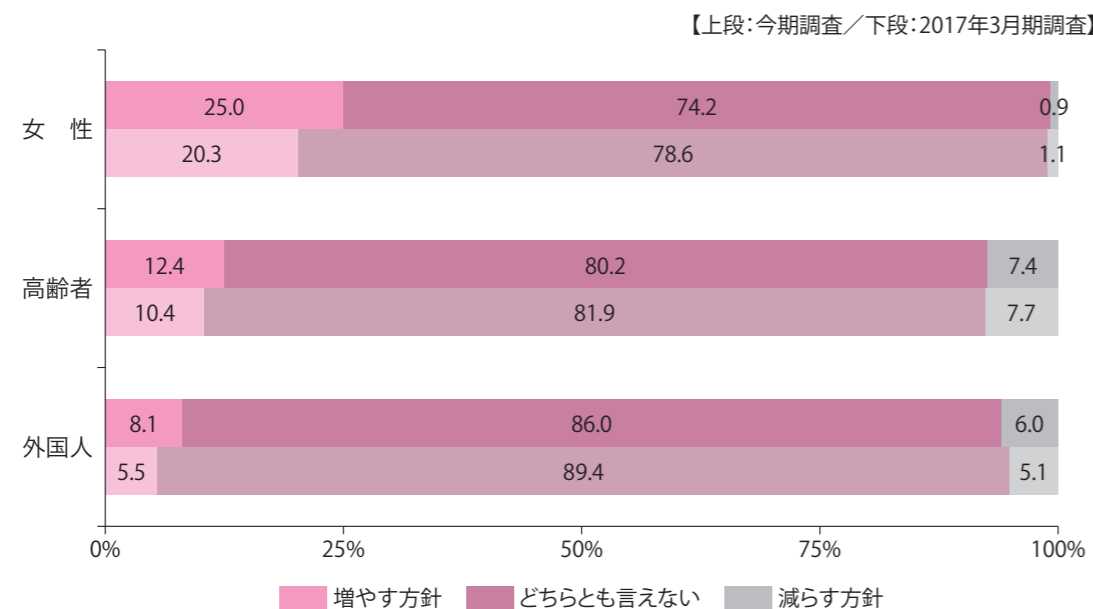
問1 ... 人手の状況について



「人手の状況」についてたずねたところ、52.2%の企業が「適正」と回答している一方、45.9%の企業は「不足」と回答しています。

なかでも「現場作業関係」の人手不足を指摘する企業が28.6%と、最も多い結果となっています。

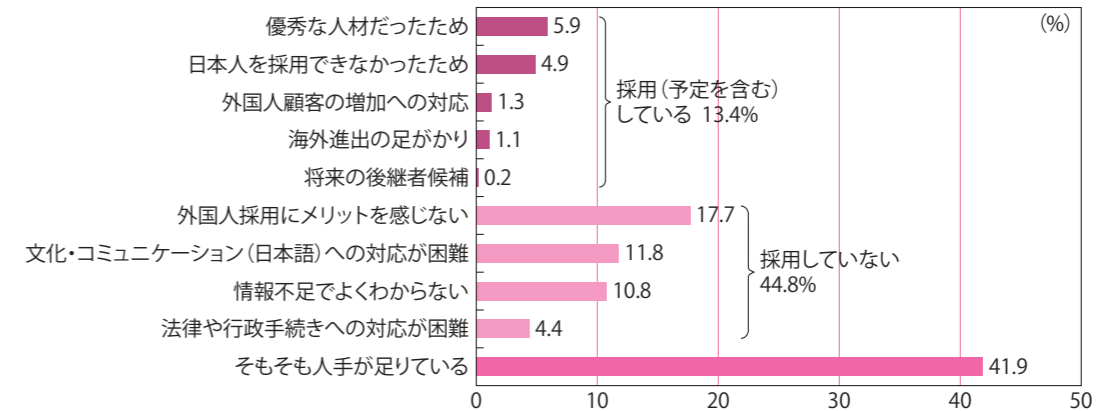
問2 ... 多様な人材の活躍推進について



女性、高齢者、外国人の採用方針についてたずね、かつ、2017年3月期の同様の調査と比較したところ、いずれも採用を「増やす方針」が増加しています。

反面、「外国人」の採用については、わずかに「減らす方針」も増えています。

問3 ... 外国人労働者の採用について

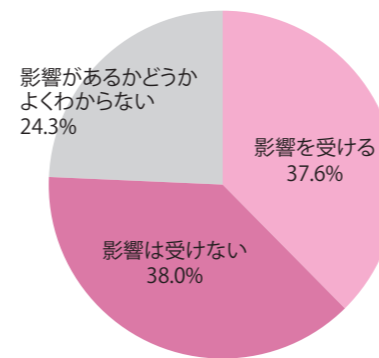


外国人労働者の採用についてたずねたところ、13.4%の企業が採用(または採用を予定)しており、理由として、「優秀な人材だったため」5.9%、「日本人を採用できなかったため」4.9%等を挙げています。

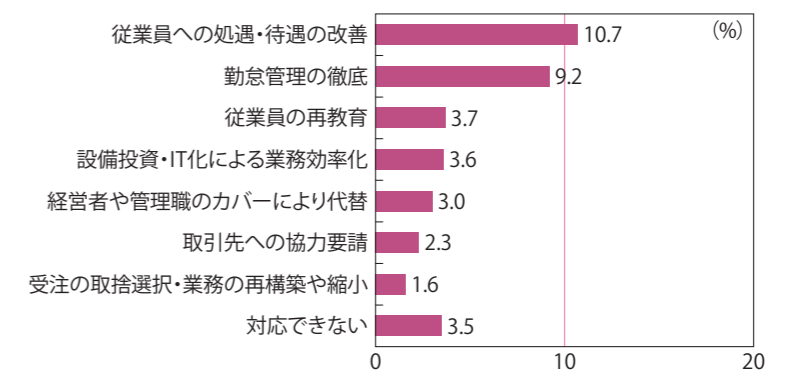
一方、採用していないと回答した企業は、理由として、「メリットを感じない」17.7%、「文化・コミュニケーション(日本語)への対応が困難」11.8%、「情報不足でよくわからない」10.9%等を挙げています。

問4 ... 働き方改革「時間外労働の上限規制」や「有給休暇の義務化」について

○影響の有無



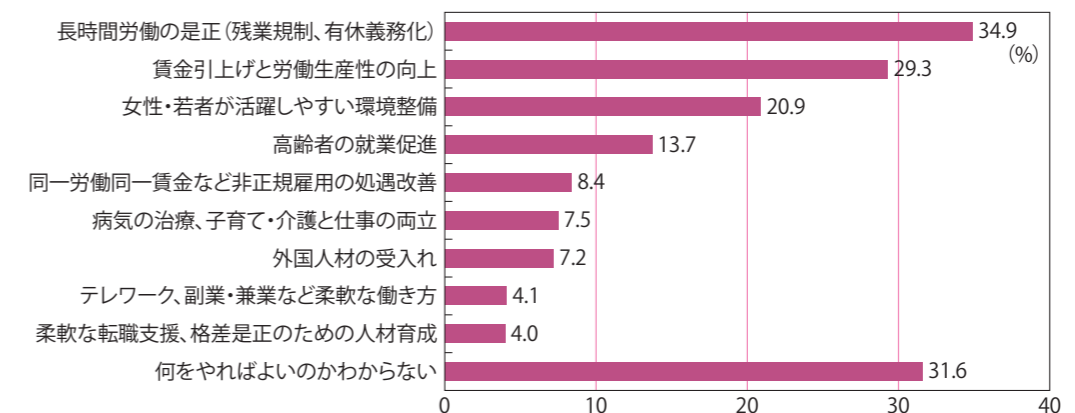
○影響を受ける企業の取組み・対応とは



働き方改革の影響についてたずねたところ、影響を「受ける」企業が37.6%、「受けない」企業が38.0%と、ほぼ拮抗した結果となっています。

影響を受ける企業の取組みの内、最も多いのは「従業員への処遇・待遇の改善」10.7%であり、次いで「勤怠管理の徹底」9.2%となっています。

問5 ... 働き方改革で取組んでいる(取組みたい)事項とは(3つ以内複数回答可)



働き方改革で取組んでいる(または取組みたい)事項についてたずねたところ、「長時間労働の是正」34.9%が最も多く、以下、「賃金引上げと労働生産性の向上」29.3%、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」20.9%、「高齢者の就業促進」13.7%と続いています。一方、「何をやればよいかわからない」という声も、31.6%の企業から寄せられています。